



SHANON

Marketing is Science

SHANON
MARKETINGPLATFORM



Welcome to SMP for Intermediate Learners

目次

1. SMS機能とは？

- SMS機能の特徴
- SMS機能の3つのメリット
- SMS機能の活用サイクル

2. SMS機能の設定方法

- 有効化
- 設定
- 送信結果確認

3. SMS機能の活用方法

- ウェビナーのリマインド
- 重要・緊急性の高い情報共有

SMS機能とは？

SMS機能

SMS（ショートメッセージサービス）は、電話番号を宛先にして携帯電話同士で短いテキストメッセージを送信するサービスです。

1

『携帯電話番号がわかれば相手にメッセージを送信できる』

2

『メールに比べて開封率が高い』

3

『BtoCマーケティングに有効である』

1

『送信文字数に制限がある』

2

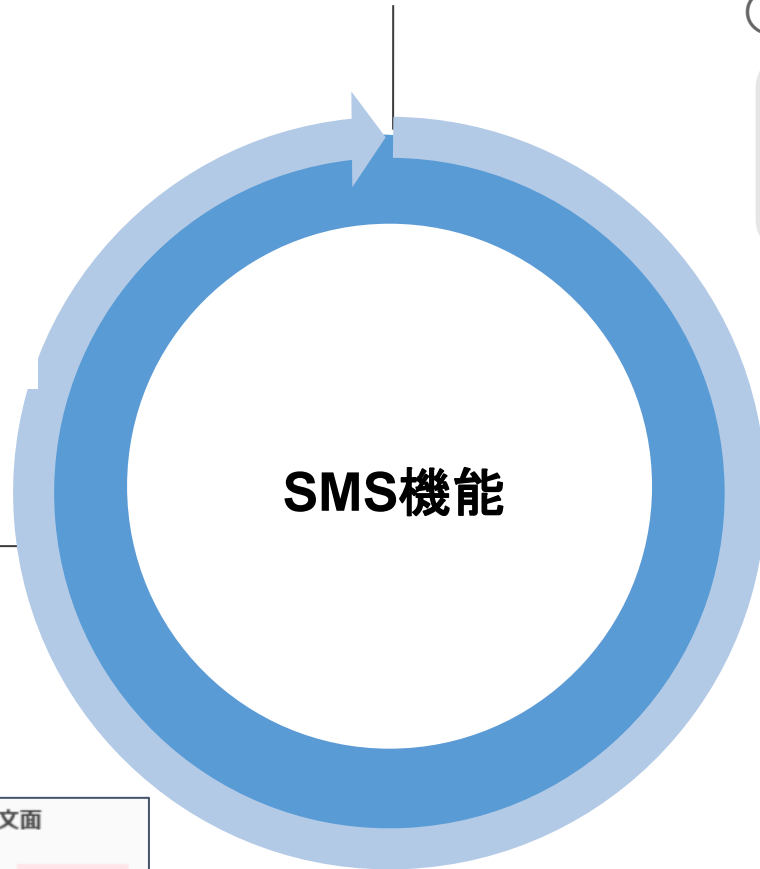
『送信料金がかかる』

3

『画像や動画を送信することができない』

SMS機能活用サイクル

SHANON MARKETING PLATFORM



④ 文面や活用用途を見直す

文量が多すぎる

適切な活用用途

緊急連絡

本人確認



送信結果をもとに、メールと同様に、内容や活用用途の改善を行います。

① 送信条件に即したリードを抽出する

090-XXX-XXXX

SMS受け取り許可



SMS受信の承諾を得ている且つ電話番号を取得しているリードデータを抽出します。

③ 送信結果を確認する

登録情報	
ID	34
アカウント名	株式会社
送信開始日時	2021-06-13 08:10:01
送信終了日時	2021-06-13 08:10:08
送信回数	2
到達率	0.00%
クリック数	0
クリック率	0.00%

送信済みSMS本文文面
テスト送信本文
<https://www.shanon.co.jp/> 0.00% (0人)

到達率の確認や、クリックカウントを利用した場合はクリック率を確認することができます。

② SMSメッセージを送信する



テンプレートを作成し、送信タイミングを日付指定で選択します。

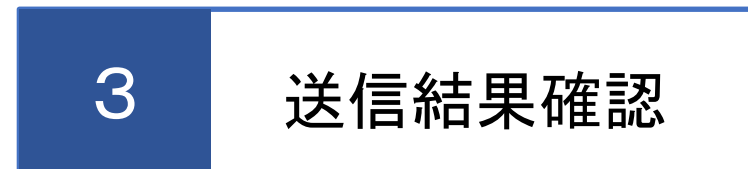
SMS機能設定の流れ



- 送信元電話番号の用意
- 申請書の依頼

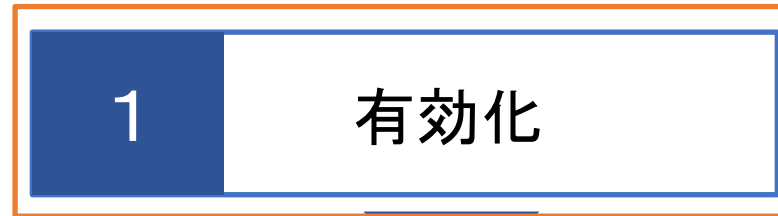


- ロール設定
- リード項目の設定
- テンプレートの登録



- ウィザード利用履歴の管理
- 個別送信履歴の管理

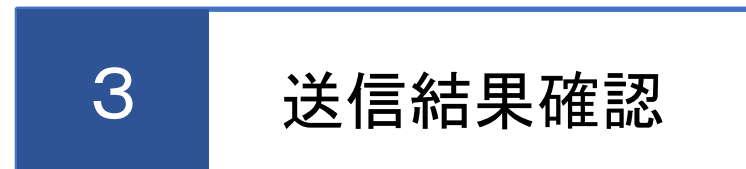
SMS機能設定の流れ



- 送信元電話番号の用意
- 申請書の依頼

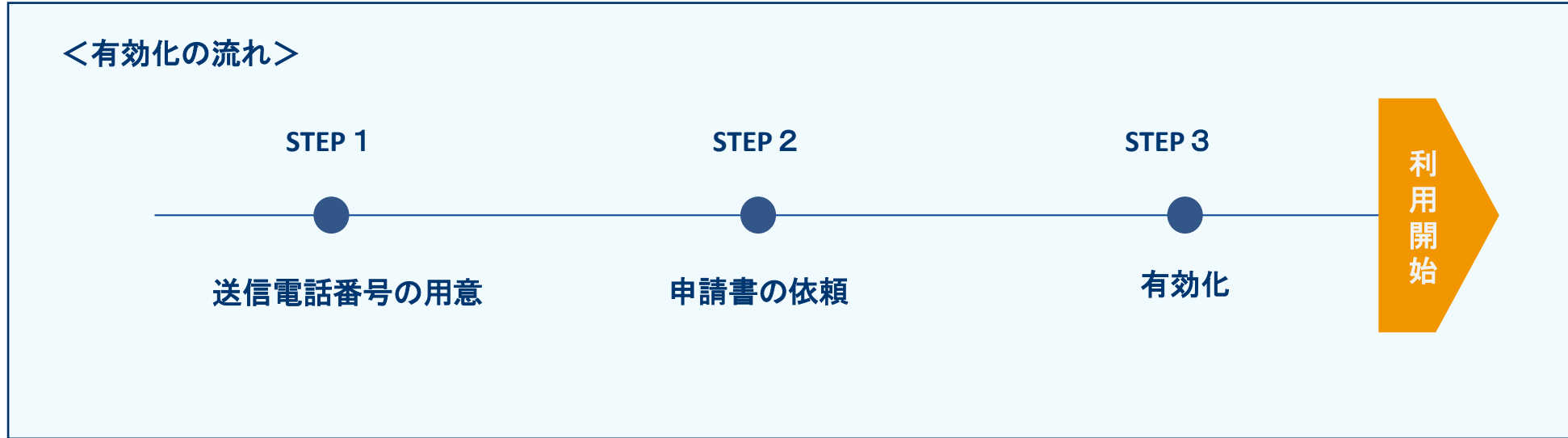


- ロール設定
- リード項目の設定
- テンプレートの登録



- ウィザード利用履歴の管理
- 個別送信履歴の管理

SMS機能の有効化



ステップ

1

『送信電話番号の用意』

SMSの送信には、送信元電話番号が必要になります。
送信元電話番号は、携帯電話・固定電話の番号を利用することができます。

ステップ

2

『申請書の依頼』

送信元番号の準備ができましたら、弊社の営業担当者にお伝えください。
営業担当者より申請書を送付いたします。

ステップ

3

『有効化』

弊社が有効化のための設定を行います。
設定が完了いたしましたらご連絡させていただきます。

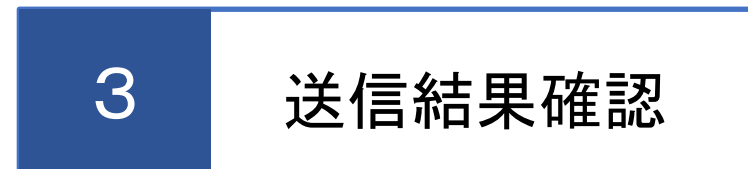
SMS機能設定の流れ



- 送信元電話番号の用意
- 申請書の依頼



- ロール設定
- リード項目の設定
- テンプレートの登録



- ウィザード利用履歴の管理
- 個別送信履歴の管理

ロール設定

SMS機能が有効化されたらロールの設定を行ってください。
付与したいロールを選択し、以下のロールにチェックを入れてください。

1056	SMS			/sms/template/list	<input checked="" type="checkbox"/>
1057		テンプレート		/sms/template/list	<input checked="" type="checkbox"/>
1058			新規	/sms/template/add	<input checked="" type="checkbox"/>
1059			詳細	/sms/template/view	<input checked="" type="checkbox"/>
1060			削除	/sms/template/delete	<input checked="" type="checkbox"/>
1061			編集	/sms/template/edit	<input checked="" type="checkbox"/>
1062		送信ウィザード		/sms/sender/add	<input checked="" type="checkbox"/>
1063		ウィザード利用履歴		/sms/distribute/list	<input checked="" type="checkbox"/>
1064			SMS送信ウィザード利用履歴詳細	/sms/distribute/view	<input checked="" type="checkbox"/>
1065			SMS送信ウィザード利用履歴削除	/sms/distribute/delete	<input checked="" type="checkbox"/>
1087		個別送信履歴		/sms/history/list	<input checked="" type="checkbox"/>
1088			SMS個別送信履歴詳細	/sms/history/view	<input checked="" type="checkbox"/>
1091		設定		/sms/settings/view	<input checked="" type="checkbox"/>
1092			設定編集	/sms/settings/edit	<input checked="" type="checkbox"/>
1094			項目自動生成	/sms/settings/generate_attributes	<input checked="" type="checkbox"/>

図：ロール設定画面

リード項目の設定

SMS配信を利用するためには、事前に2つのリード基本項目を設定する必要があります。
[SMS]>[設定]より、設定を完了してください。

項目名	取得情報
送信先電話番号として使用する項目	携帯電話番号を取得する項目
SMS受け取り許可として使用する項目	SMSの送信について同意を取得する項目

SMSテンプレートの登録

STEP 1 : SMSテンプレートを登録する

SMS送信用のメッセージをテンプレートとして作成・管理



メールと同じように、テンプレートを作成

STEP2 : 送信予約をする

送信ウィザード機能を利用して配信を予約



送信対象者の検索条件を保存し、
予約配信設定を実施

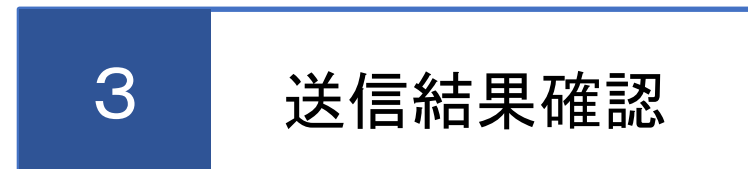
SMS機能設定の流れ



- 送信元電話番号の用意
- 申請書の依頼



- ロール設定
- リード項目の設定
- テンプレートの登録



- ウィザード利用履歴の管理
- 個別送信履歴の管理

送信結果の確認

1

ウィザード利用履歴で確認する

2

個別送信履歴で確認する

目次

1. SMS機能とは？

- SMS機能の特徴
- SMS機能の3つのメリット
- SMS機能の活用サイクル

完了

2. SMS機能の設定方法

- 有効化
- 設定
- 送信結果確認

完了

3. SMS機能の活用方法

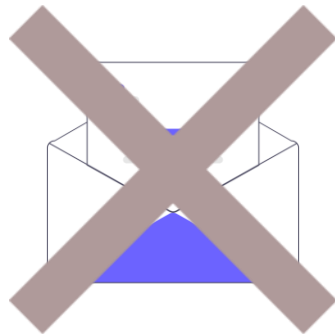
- ウェビナーのリマインド
- 重要・緊急性の高い情報共有

SMS機能の活用方法

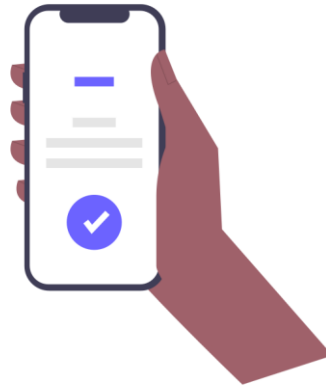
SMS機能の活用方法は大きくふたつあります。

活用例 1 : ウェビナーのリマインド

シナリオ機能を活用して、ウェビナーリンクが含まれるリマインドメールを開封していないリードに対して最終リマインド通知を送信します。



メールは確認
できていなかった



携帯ではプッシュ通知が入
るので目にとまりやすい

活用例 2 : 重要・緊急性の高い情報共有

イベント会場等でPCよりも携帯電話での情報キャッチが主流となるケースの場合、申込者に対してイベント開始時間のリマインド情報などを送信します。



イベント

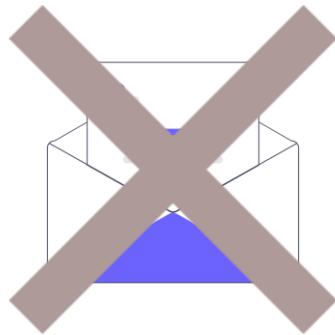
現地で次のイベントブース
への移動中に情報が届く



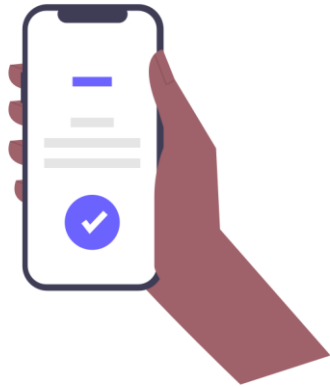
SMS機能の活用方法は大きくふたつあります。

活用例 1 : ウェビナーのリマインド

シナリオ機能を活用して、ウェビナーリンクが含まれるリマインドメールを開封していないリードに対して最終リマインド通知を送信します。



メールは確認
できていなかった



携帯ではプッシュ通知が入
るので目にとまりやすい

活用例 2 : 重要・緊急性の高い情報共有

イベント会場等でPCよりも携帯電話での情報キャッチが主流となるケースの場合、申込者に対してイベント開始時間のリマインド情報などを送信します。

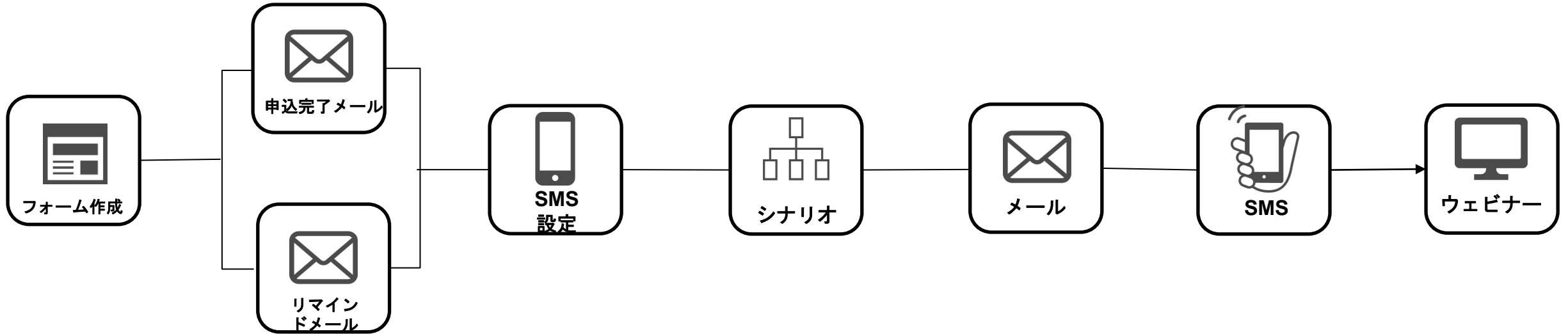
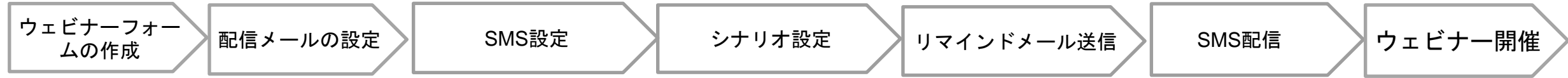


イベント

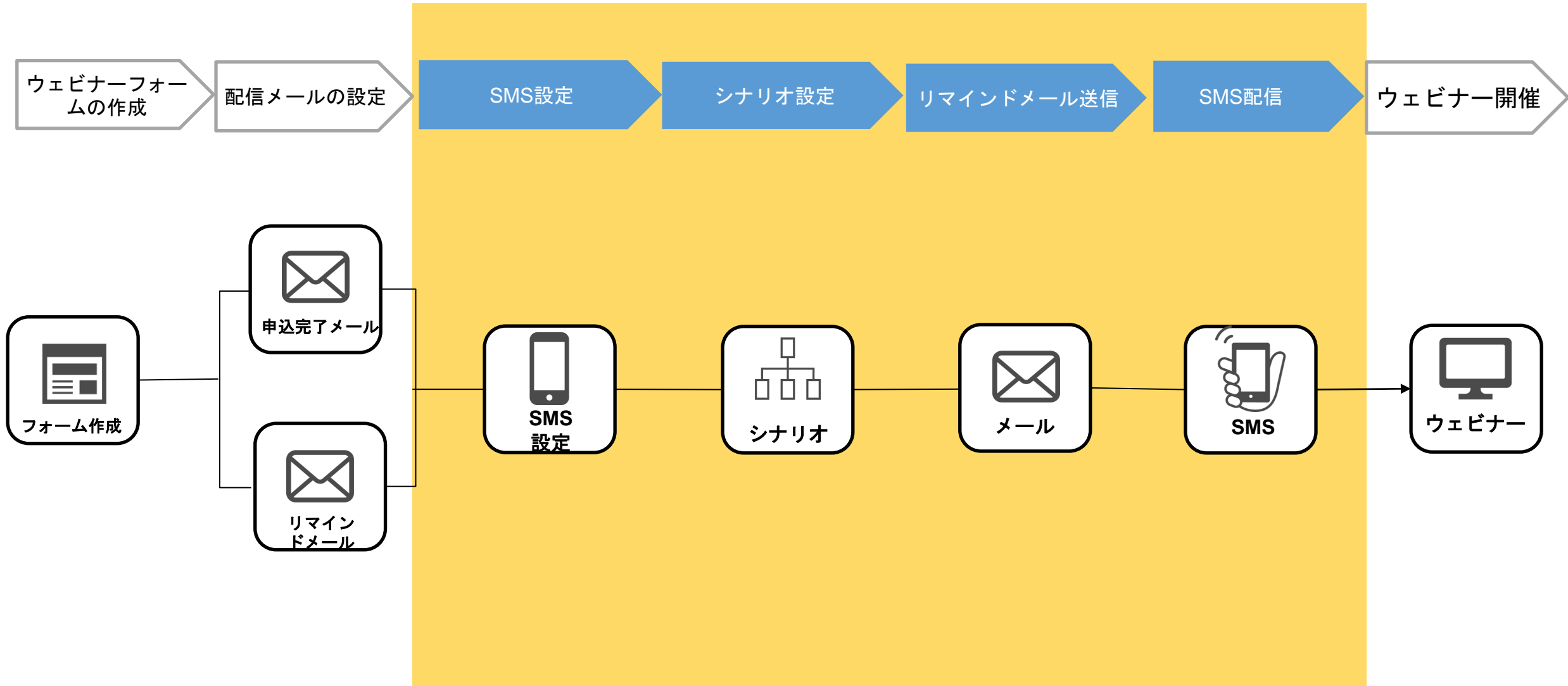
現地で次のイベントブース
への移動中に情報が届く




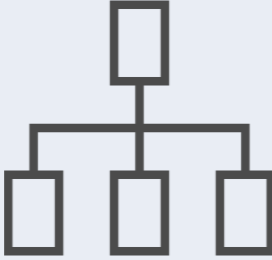


運用イメージ：（１）ウェビナーのリマインド



運用イメージ：（１）ウェビナーのリマインド



活用イメージ：（１）ウェビナーのリマインド

SMS設定	シナリオ設定	リマインドメール送信	SMS送信
<p>①SMSメの事前設定・テンプレート作成・予約配信設定を行います。</p>	<p>②申込者の中でリマインドメールを開封していない人宛にSMSメッセージを送信するシナリオを作成します。</p>	<p>③ウェビナー開催数日前に、開催URLリンクを含むリマインドメールが送信されます。</p>	<p>④3で送信されたリマインドメールを開封していない参加者宛にSMSが送信されます。</p>
<p>SMPマニュアル：SMSテンプレートを管理する 2.SMS機能の設定方法 (p.17) 参照</p>	<p>SMPマニュアル：シナリオの登録</p>	<p>シナリオに沿って、リマインドメールが送信される</p>	<p>SMSメッセージが配信される</p>
 <p>SMS設定画面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SMS事前設定 ・SMSテンプレート設定 ・送信ウィザード設定 	 <p>ウェビナー申込者にメールやSMS送信を行うシナリオ</p>	 <p>申込者宛にリマインドメール送信</p>	 <p>リマインドメールを開封していない参加者宛に、開催リンクをSMSで再送信</p>

SMS機能の活用方法は大きくふたつあります。

活用例 1 : ウェビナーのリマインド

シナリオ機能を活用して、ウェビナーリンクが含まれるリマインドメールを開封していないリードに対して最終リマインド通知を送信します。



メールは確認できていなかった

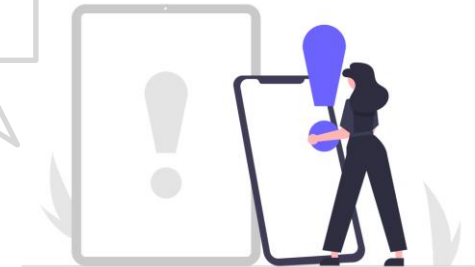
携帯ではプッシュ情報が入るので確認できる

活用例 2 : 重要・緊急性の高い情報共有

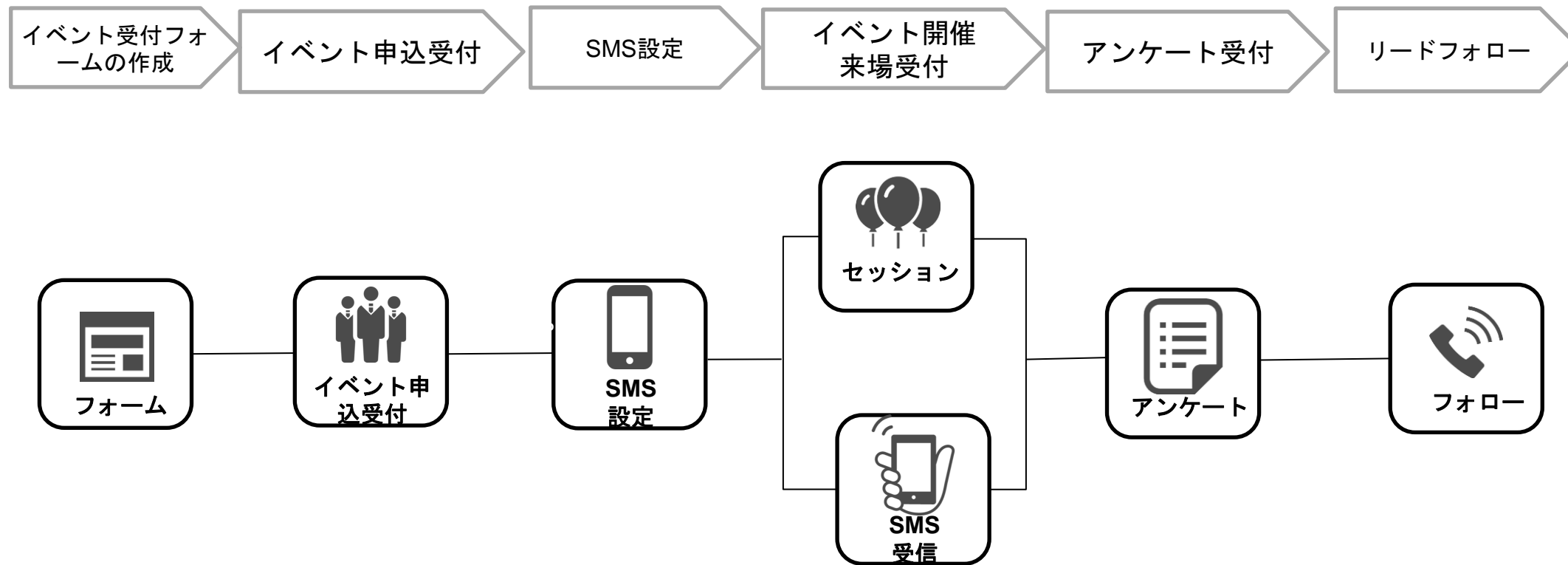
イベント会場等でPCよりも携帯電話での情報キャッチが主流となるケースの場合、申込者に対してセッション開始時間のリマインドを送信します。



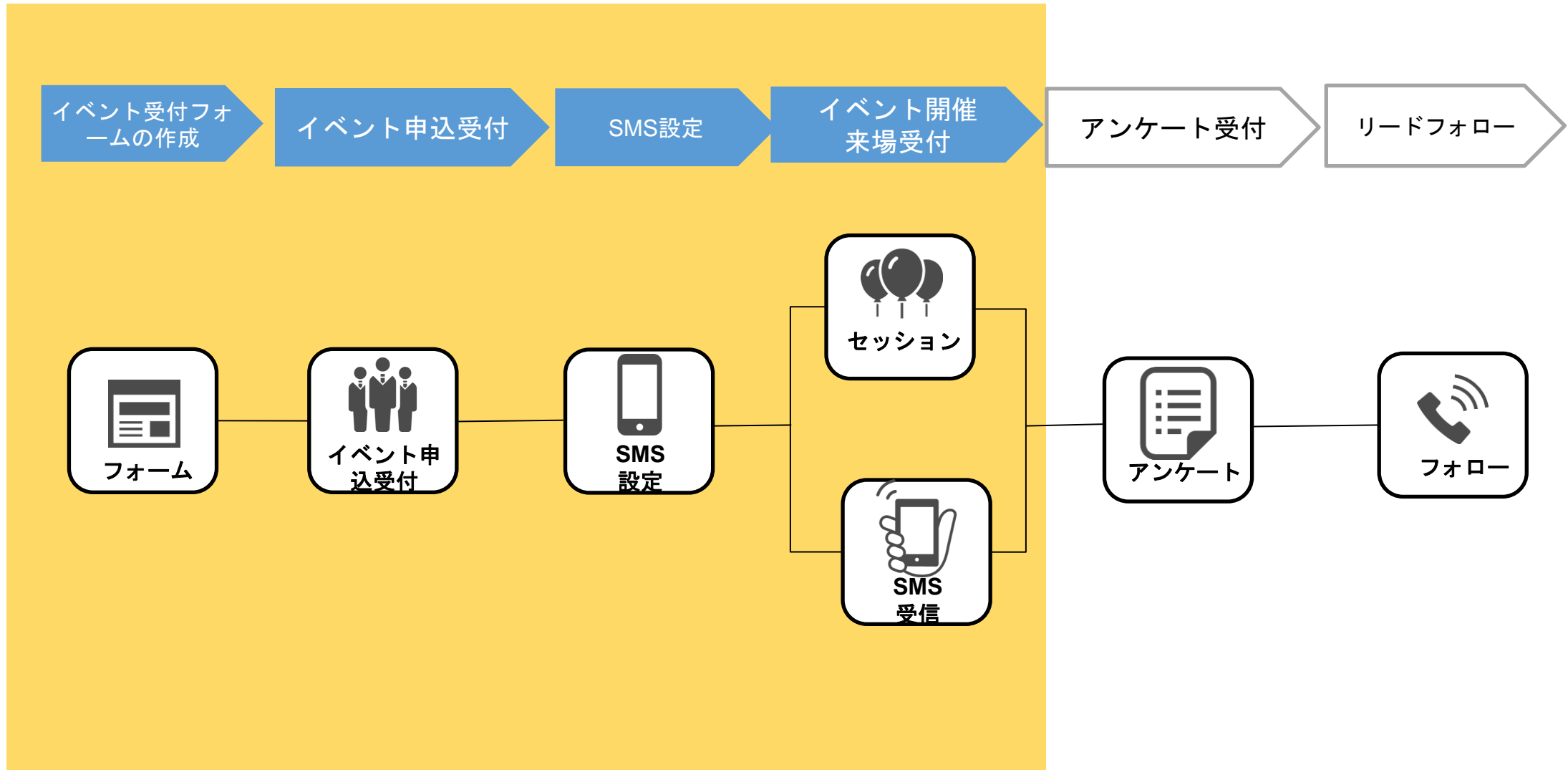
現地で次のイベントブースの情報が届く



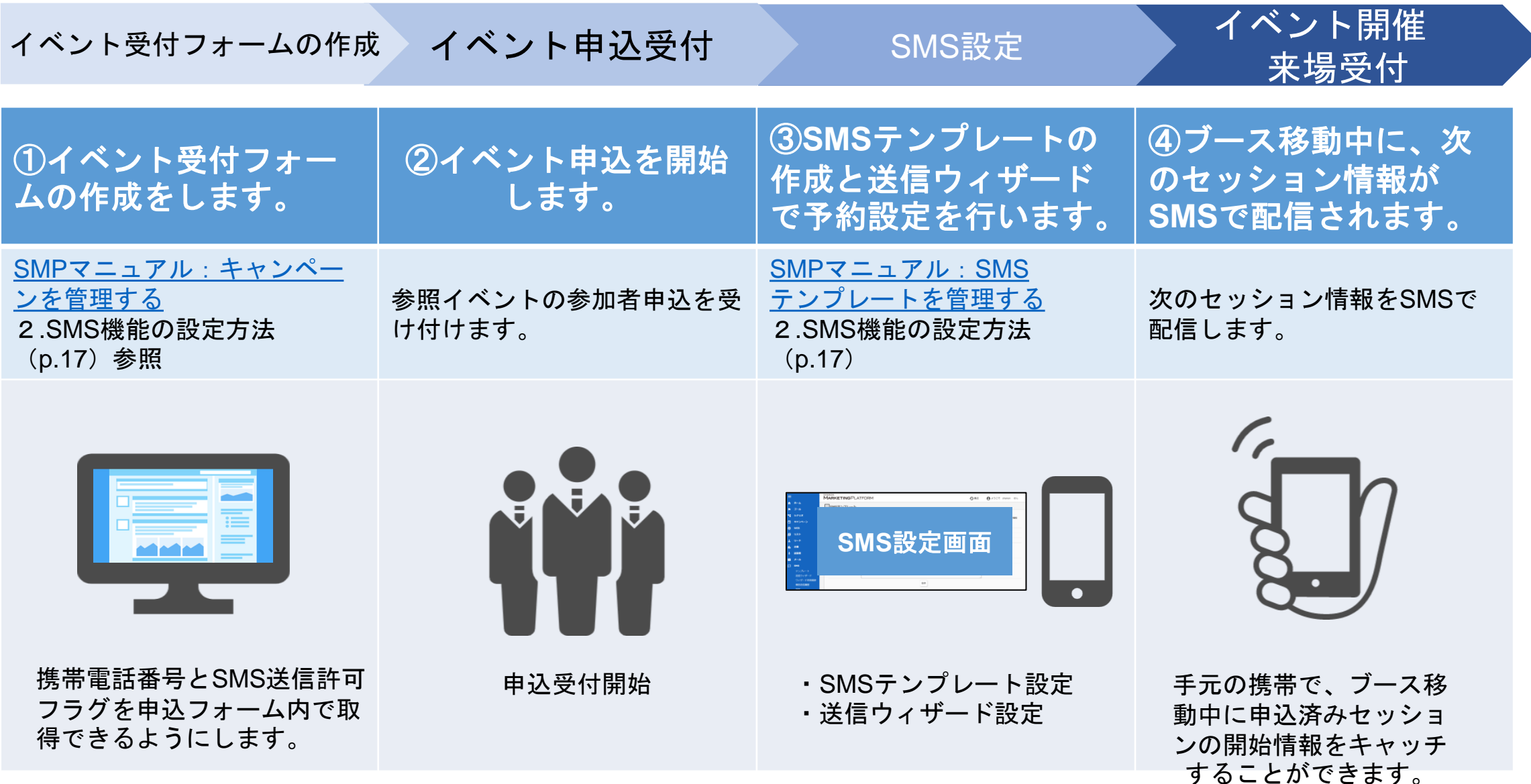
運用イメージ：（２）重要・緊急性の高い情報共有



運用イメージ：（２）重要・緊急性の高い情報共有



活用イメージ：（２）重要・緊急性の高い情報共有



目次

1. SMS機能とは？

- SMS機能の特徴
- SMS機能の3つのメリット
- SMS機能の活用サイクル

完了

2. SMS機能の設定方法

- 有効化
- 設定
- 送信結果確認

完了

3. SMS機能の活用方法

- ウェビナーのリマインド
- 重要・緊急性の高い情報共有

完了



SHANON

Marketing is Science